

# 星色夜空



星が広がる空

廣闊星空下

一人立ち止まって  
伝えられずにいる  
この想い 見上げて

一個人駐足  
傳達不到的思緒  
仰頭許下心願

---

目に見える物は  
全部 愛おしくて  
耳に届く音は  
何もかも 美しい

眼中映入的事物  
全部都如此可愛  
耳中傳入的聲音  
句句都如此美麗

---

星を 線で結んで  
君を描いて  
瞳 の中に 映した  
いつも 強がる  
私は突っぱねて  
本当は 君が居ないと  
駄目なのに

用線條將星星連起來  
畫出妳的樣子  
牢牢記在眼中  
一直在 逞強的  
我一直在抗拒  
其實 沒有妳  
就完全不行

---

遠く 遠く 続いてる空  
その向こうで 君は 何  
想う  
いつか消える あの星の  
下  
永遠を願い 想い 見上げ

向遠方延展的夜空  
那一端的妳 在想什麼  
不知何時會消失的 那顆  
星下  
但願人長久 許下心願

---

強く 弱く 光を放つ  
君の近くに 北斗七星  
そんな 輝きであるよう  
に  
君を想い 願い掛けて

忽強忽弱 閃爍亮光  
妳的附近 有北斗七星  
就像那星的耀眼  
帶上我對妳的想念

---

夜が明けていく  
君を想えなくなる  
朝が来る頃には  
また強がってしまう  
微かな光は  
もっと愛おしくて  
朝へ向かう音に  
耳を固く 塞ぐ

夜漸漸破曉  
想妳的時間將盡  
迎來早晨的時候  
又要逞強起來  
細微的光亮  
愈發變得愛惜  
對着破曉的聲音  
嚴實地堵上耳朵

---

時を止めて夜が続いてく  
魔法が  
この手に あればいいの  
に  
本当は君と居るときも  
同じように  
ずっと 思っているのに

如果有能讓時間停止繼續  
夜晚的魔法  
在我手上的話就好了  
其實和妳在一起的時候  
也是一樣  
一直在想着妳

---

長く 永く 続いてる夜  
この闇の中で 君を想う

夜晚永遠持續下去  
這片黑暗中 在想着妳

いつも隠して持ち歩いた  
君がくれた人形見つめ

一直藏在身邊隨身帶着  
盯着妳給我的人偶

弱く 強く 何度も 君  
の  
名前を 繰り返し 呼ん  
でいる  
よく間違えては怒られた  
覚え難い 愛しい名前

細聲地大聲地 無數次  
翻來覆去呼喊妳的名字  
經常搞錯惹妳生氣  
很難記的 喜歡的名字

遠く 遠く 続いてる空  
その向こうで 君は 何  
想う  
いつか消える あの星の  
下  
永遠を願い 想い 見上げ

向遠方延展的夜空  
那一端的妳 在想什麼  
不知何時會消失的 那顆  
星下  
但願人長久 許下心願

強く 弱く 光を放つ  
君の近くに 北斗七星  
そんな 輝きであるよう  
に  
君を想い 願い掛けて

忽強忽弱 閃爍亮光  
妳的附近 有北斗七星  
就像那星的耀眼  
帶上我對妳的想念

這首魔理莎和愛麗絲的「星色夜空」用詞都比較簡單，就只放註音版吧。只不過翻譯的時候，譯着譯着還在想，歌詞中提到兩人分處兩地的思念，會不會不僅僅是遠距離，而是壽命論下的陰陽兩隔呢？

---

ほし ひろ そら

星が広がる空

ひとり た ど

一人立ち止まって

つた

伝えられずにいる

おも みあ

この想い 見上げて

---

め み もの

目に見える物は

ぜんぶ いと

全部 愛おしくて

みみ とど おと

耳に届く音は

なに うつく

何もかも 美しい

---

ほし せん むす

星を 線で結んで

きみ えが

君を描いて

ひとみ なか うつ

瞳 の中に 映した

つよ

いつも 強がる

わたし つ

私は突っぱねて

ほんとう きみ い

本当は 君が居ないと

だめ

駄目なのに

---

とお

とお

つづ

そら

遠く 遠く 続いてる 空

む

きみ

なに おも

その向こうで 君は 何想う

き

ほし

した

いつか消える あの星の下

とわ

ねが

おも

みあ

永遠を願い 想い 見上げ

---

つよ

よわ

ひかり

はな

強く 弱く 光を放つ

きみ

ちか

ほくとしちせい

君の近くに 北斗七星

かがや

そんな 輝きであるように

きみ

おも

ねが

か

君を想い 願い掛けて

---

よる

あ

夜が明けていく

きみ おも

君を想えなくなる

あさ く ころ

朝が来る頃には

つよ

また強がってしまう

かす ひかり

微かな光は

いと

もっと愛おしくて

あさ む おと

朝へ向かう音に

みみ かた ふさ

耳を固く塞ぐ

---

とき と よる つづ まほう

時を止めて夜が続いてく魔法が

て

この手に あればいいのに

ほんとう きみ い おな

本当は君と居るときも 同じように

おも

ずっと 思っているのに

---

ながなが つづ よる

長く 永く 続いている夜

やみ なか きみ おも

この闇の中で 君を想う

かく も ある

いつも隠して持ち歩いた

きみ

にんぎょう み

君がくれた人形 見つめ

---

よわ

つよ

なんど

きみ

弱く 強く 何度も 君の

なまえ

く

かえ

よ

名前を 繰り返し 呼んでいる

まち

おこ

よく間違えては怒られた

おぼ

にく

いと

なまえ

覚え難い 愛しい名前

---

とお

とお

つづ

そら

遠く 遠く 続いている 空

む

きみ

なに おも

その向こうで 君は 何思う

き

ほし

した

いつか消える あの星の下

とわ

ねが

おも

みあ

永遠を願い 想い 見上げ

---

つよ

よわ

ひかり

はな

強く 弱く 光を放つ

きみ

ちか

ほくとしちせい

君の近くに 北斗七星

かがや

そんな 輝きであるように

きみ

おも

ねが

か

君を想い 願い掛けて



